

社説

2025.5.21

化学品商社、グローバル展開を強化

化学品商社がグローバル展開を強化している。長期化が予測される中国経済の低迷に加え、米トランプ政権による関税政策など国際情勢は波乱含みだが、このような状況下で活路を見出すべく、海外企業のM&Aや海外製品の取り扱い拡大、新市場開拓を目的とする新たな拠点の設立など活動を活発化しているところだ。各社が取り扱う商材は、

化学品商社の屋台骨を支える基礎化学品に加え、医薬業中間体、半導体関連材料をはじめとする高付加価値製品など多岐にわたっている。森六は、ケミカル事業で欧州戦略を強化している。5月に独デュッセルドルフに駐在員事務所を開設し、現有するウィーンのオーストリア現地法人と合わせて2拠点体制を構築する。これにより手薄だ

った中欧、東欧市場をカバーし、とくに自動車、電気・電子材料、医薬業中間体の3分野に力を注ぐ。環境保護への関心が高い欧州市場で、廃車からの有害物質削減やリサイクル率向上を狙いとする欧州のELV規制に沿った樹脂原料など、各環境商材の提案促進を見込んでいる。またCBCは、台湾TBM

の戦略的パートナーシップ構築によるバイオ医薬品受託製造の提案や、独フィオニバイオの代理店として細胞株開発の受託サービスの提供を行っている。TBMはmRNAや遺伝子治療薬、細胞治療、抗体医薬の製造を受託している。CBCは日本の顧客開拓とともに、TBMが使用する原料を日本メーカーから調達する。またフィオニは塩素系溶剤などの販売を継承しながら、宇津商事が得意とする電子関連材料やフィルムなど各商材の輸出入を、日本および海外の各拠点と連携

しながら推進していく。キミアをマレーシア拠点として活用し、宇津商事グループでASEANにおける事業展開に力を注いでいる。各社とも海外展開を強化している理由はさまさまだが、その理由の一つに近年の中国经济の低迷が挙げられる。ネクストチャイナとして、今後成長が見込まれるASEANやインド、さらには欧州などでのビジネスの探索に余念がない。今後、これら取り組みが一段と活発化しそうだ。

またCBCは、台湾TBMとの戦略的パートナーシップ構築によるバイオ医薬品受託製造の提案や、独フィオニバイオの代理店として細胞株開発の受託サービスの提供を行っている。TBMはmRNAや遺伝子治療薬、細胞治療、抗体医薬の製造を受託している。CBCは日本の顧客開拓とともに、TBMが使用する原料を日本メーカーから調達する。またフィオニは塩素系溶剤などの販売を継承しながら、宇津商事が得意とする電子関連材料やフィルムなど各商材の輸出入を、日本および海外の各拠点と連携しながら推進していく。キミアをマレーシア拠点として活用し、宇津商事グループでASEANにおける事業展開に力を注いでいる。各社とも海外展開を強化している理由はさまさまだが、その理由の一つに近年の中国经济の低迷が挙げられる。ネクストチャイナとして、今後成長が見込まれるASEANやインド、さらには欧州などでのビジネスの探索に余念がない。今後、これら取り組みが一段と活発化しそうだ。